

産業現場実習（インテリア類型）

産業現場実習は、建築インテリア工学科の生徒が地域の木製家具メーカーに直接出向き、企業の技術者から指導を受ける実習活動です。

工業高校の総合的な探究の時間「課題研究」に位置付け、6日間企業の現場において、実践的な技能、技術を学習します。専門的な内容を企業と学校で交互に学ぶデュアルシステムの学習形態を取り、卒業後に実習を行った企業に就職する生徒もいます。



黒スツール
〈実習先〉 飛騨産業株式会社



クロワッサンスツール
〈実習先〉 柏木工株式会社



サガチスツール
〈実習先〉 日進木工株式会社



ウエスツール
〈実習先〉 株式会社シラカワ

産業現場実習を通して、1つのスツールを製作するために多くの工程があることを知りました。上手いいかない事もありましたが、指導者の方の優しく丁寧な指導のおかげで自分がデザインした通りのスツールを製作することができました。

建築インテリア工学科3年

私が産業現場実習を通して印象に残っている事は、1から自分でものづくりをする面白さを感じられたことです。自分で製図をして、その図面を元に、家具メーカーの技術者に指導いただきながら、自分で作品を作るというとても貴重な体験ができました。

建築インテリア工学科3年

私はこの産業現場実習を通して様々なことを学ぶことができました。製図から木取り、組み立てまでの一連の流れを学びました。原寸図を作図することや構造を考えて組み立てすることがとても楽しく、とても良い経験ができました。この経験を生かして、就職後も頑張りたいと思います。

建築インテリア工学科3年

ものづくりをするときに気遣うところや、使用する時のことを考えて家具を作ることを1つ1つ丁寧に教えて頂きました。愛される家具を作るためには見た目のデザインだけでなく、使用中の快適さも十分に配慮しなければならないのだと体感することができました。

建築インテリア工学科3年